

業種別業況動向調査結果(令和3年1－3月期)

令和3年6月
北海道経済部経済企画課

- 調査時期 令和3年4月
- 調査方法 道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
- 調査団体 機械（機械工業会）、IT（IT推進協会）
食品（菓子工業組合）、商店街（商店街振興組合連合会）
卸売市場（市場協会）
観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部）
建設（建設業協会）、運輸（トラック協会）、金融（信用保証協会）
経済団体（商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会）

目次 <調査項目>

I 一般調査

1 業界の動向について（現状と今後の見通し）

- (1) 業界の動向について . . . P 1
- (2) 売上高、売上単価 . . . P 4
- (3) 原材料、燃料、仕入価格 . . . P 8
- (4) 収益 . . . P 11
- (5) 設備投資 . . . P 14
- (6) 雇用 . . . P 17
- (7) 資金繰り . . . P 20
- 2 業界として抱える問題点・課題について . . . P 23
- 3 道の施策等に対する意見、要望について . . . P 26

II 特別調査

- 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について . . . P 28
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により導入した、
会員企業や団体等における接触を避けるための取組につ
いて、うまくいった点や工夫した点、今後の改善点や課
題等

I 一般調査

1 業界の動向について

(1) 業界の動向について

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い)
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・<input type="checkbox"/>やや悪い<input type="checkbox"/>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・<input type="checkbox"/>やや悪い<input type="checkbox"/>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・<input type="checkbox"/>良い<input type="checkbox"/>・非常に良い) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・<input type="checkbox"/>やや悪い<input type="checkbox"/>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・<input type="checkbox"/>悪い<input type="checkbox"/>・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・<input type="checkbox"/>悪い<input type="checkbox"/>・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い) ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・<input type="checkbox"/>やや悪い<input type="checkbox"/>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い) ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・<input type="checkbox"/>やや悪い<input type="checkbox"/>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い) ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ (非常に悪い・悪い・やや悪い・<input type="checkbox"/>横ばい<input type="checkbox"/>・やや良い・良い・非常に良い)

<p>観 光 (旅行業)</p>	<p>[現状] ・ (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p> <p>[見通し] ・ (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p>
<p>観 光 (ホテル業)</p>	<p>[現状] ・ (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p> <p>[見通し] ・ (非常に悪い)・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p>
<p>建 設</p>	<p>[現状] ・ (非常に悪い)・悪い・(やや悪い)・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p> <p>[見通し] ・ (非常に悪い)・(悪い)・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p>
<p>運 輸</p>	<p>[現状] ・ (非常に悪い)・(悪い)・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p> <p>[見通し] ・ (非常に悪い)・(悪い)・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い)</p>
<p>経済団体 (商工会議所 連合会)</p>	<p>[現状・見通し] 【業況D I】 現 状 → 見通し (現状との差) 全 業 種 ▲42.3 → ▲28.4 (+13.9) 製 造 業 ▲62.1 → ▲36.3 (+25.8) 建 設 業 ▲25.0 → ▲25.0 (+0) 卸 売 業 ▲50.0 → ▲36.8 (+13.2) 小 売 業 ▲32.8 → ▲17.9 (+14.9) サービ業 ▲41.4 → ▲25.8 (+15.6)</p>
<p>経済団体 (商工会 連合会)</p>	<p>[現状] ■業況 製 造 業 前年同期比D I 値=▲44.0P 建 設 業 前年同期比D I 値=▲15.6P 小 売 業 前年同期比D I 値=▲50.6P サービ業 前年同期比D I 値=▲68.0P</p> <p>[見通し] ■業況 製 造 業 前年同期比D I 値=▲27.0P 建 設 業 前年同期比D I 値=▲ 7.0P 小 売 業 前年同期比D I 値=▲40.0P サービ業 前年同期比D I 値=▲37.4P</p>
<p>経済団体 (中小企業 団体中央会)</p>	<p>[現状・見通し] ○食料品製造業 (水産食料品：留萌) ・ 現 状：悪い。 ・ 見通し：やや悪い。 ○木材・木製品製造業 (一般製材) ・ 現 状：事業所により、やや悪い～良いに分かれる。 ・ 見通し：事業所により、横ばい～やや良いに分かれる。 ○紙・紙加工品製造業 (加工紙) ・ 現 状：悪い～やや悪い。 ・ 見通し：悪い～やや悪い。</p>

[現状・見通し]

○印刷業

- ・現状：悪い。
- ・見通し：悪い。

○窯業・土石製品製造業（生コン）

- ・現状：悪い。
- ・見通し：悪い。

○鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）

- ・現状：横ばい。
- ・見通し：やや良い。

○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）

- ・現状：やや悪い。
- ・見通し：横ばい。

○卸売業（各種商品：札幌）

- ・現状：悪い（ただし、扱い品目によるばらつきが大きい）。
- ・見通し：悪い。

○卸売業（野菜・果実：札幌）

- ・現状：良い。
- ・見通し：やや悪い。

○小売業（各種商品：函館）

- ・現状：経済面においても緊急事態宣言の影響が大きく、2月末で道による札幌などの時短要請もようやく終了となったが、依然景気回復には至らず、厳しい情勢を強いられている。道南地区も影響は同様で、冬の各種イベントが軒並み中止や延期となり、コロナの動向をギリギリまで見極めたものの苦渋の決断となってしまい、関係者にとっては活性化のきっかけが奪われ落胆の様相。
- ・見通し：緊急事態宣言下で迎えた去年の連休とは違い、市内のホテルは満室となる日もあるが、予約は以前の水準には至らず、観光スポットも例年のにぎわいには程遠い。JR北海道28日～5月5日の指定席予約状況は、コロナ禍前と比較して新幹線が約2割、在来線で約3割。湯の川温泉街のホテルは1～3日に予約が集中し、連休の予約は全体で8割程度。ほとんどが道内客。函館ホテル旅館協同組合も1、2日はほぼ満室、3日は7割、連休全体に予約が広がらず、苦しい状況。五稜郭タワーは例年団体客などが一日で50団体訪れるが、今年は関東や関西からのツアーが1日5団体ほど。ローブウェイも連休中は個人客がメインで動向はつかみ切れていないが、厳しい連休になるとの見通し。

○小売業（電気機械器具）

- ・現状：やや悪い。
- ・見通し：横ばい。

○小売業（農業用機械器具）

- ・現状：横ばい。
- ・見通し：横ばい。

○サービス業（公衆浴場）

- ・現状：横ばい。
- ・見通し：やや悪い。

○サービス業（ソフトウェア）

- ・現状：やや良い。
- ・見通し：DX化に伴うAI、IoTへの投資やクラウドサービス化は企業にとって必要な業務効率化であることや、4月以降、製造業を中心にして業績が回復すると予測されていることから、変異ウイルスの感染拡大で経済への大きな打撃がない限り、システム開発投資も回復、拡大すると期待されている。開発案件の見積打診もあり、人材確保が喫緊の課題になりつつあるなど、明るい業況見通しとなってきている。

○サービス業（自動車整備）

- ・現状：横ばい。
- ・見通し：やや良い。

○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）

- ・現状：横ばい。
- ・見通し：やや悪い。

(2) 売上高、売上単価

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20.5%が増加、45%が減少。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 17%が増加、46.8%が減少。
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高は、ネットワーク関連事業で増加の動きもみられるものの、システム更新などの動きが止まっている影響もあり、取引の減少が見られる。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来期も同様の見通し。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回復している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低下しそう。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼすべての業種で売上が回復していない状況にある。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの収束が見通せない中では、今後も売上の好転は見込めない。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年より減少。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年割れ。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年と比べて数量減の単価高となり、売上高はやや上回った。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年並み。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高、単価とも上伸予想。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年並みの売上高を見込んでいる。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に悪い。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に悪い。

<p>観 光 (ホテル業)</p>	<p>[現状] ・売上前年比 70%減。</p> <p>[見通し] ・前年比同様、前々年比では 70~80%減。</p>																																										
<p>建 設</p>	<p>[現状] ・受注総額は、「減少」傾向が弱まっている。 ・官公庁工事は「減少」がやや弱まり、民間工事は「減少」傾向が続いている。</p> <p>[見通し] ・受注総額は、「減少」傾向がかなり強まる見通しとなっている。 ・官公庁工事は「減少」傾向がかなり強まり、民間工事は「減少」傾向が強まる見通しとなっている。</p>																																										
<p>運 輸</p>	<p>[現状] ・輸送量はコロナ禍の影響が続いており、宅配など増加している分野はあるが、全体的には減少傾向が続いている。</p> <p>[見通し] ・コロナ禍の収束見通しが立っておらず、輸送品目により増減があるが、今後も輸送量及び収益の改善見通しは立っていない。</p>																																										
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>【売上D I】 現 状 → 見通し (現状との差)</p> <table border="0"> <tr> <td>全 業 種</td> <td>▲48.9</td> <td>→</td> <td>▲30.1</td> <td>(+18.8)</td> </tr> <tr> <td>製 造 業</td> <td>▲61.0</td> <td>→</td> <td>▲40.3</td> <td>(+20.7)</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>▲36.9</td> <td>→</td> <td>▲34.3</td> <td>(+ 2.6)</td> </tr> <tr> <td>卸 売 業</td> <td>▲52.5</td> <td>→</td> <td>▲33.9</td> <td>(+18.6)</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>▲39.2</td> <td>→</td> <td>▲ 5.7</td> <td>(+33.5)</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>▲54.9</td> <td>→</td> <td>▲36.3</td> <td>(+18.6)</td> </tr> </table>	全 業 種	▲48.9	→	▲30.1	(+18.8)	製 造 業	▲61.0	→	▲40.3	(+20.7)	建 設 業	▲36.9	→	▲34.3	(+ 2.6)	卸 売 業	▲52.5	→	▲33.9	(+18.6)	小 売 業	▲39.2	→	▲ 5.7	(+33.5)	サービス業	▲54.9	→	▲36.3	(+18.6)												
全 業 種	▲48.9	→	▲30.1	(+18.8)																																							
製 造 業	▲61.0	→	▲40.3	(+20.7)																																							
建 設 業	▲36.9	→	▲34.3	(+ 2.6)																																							
卸 売 業	▲52.5	→	▲33.9	(+18.6)																																							
小 売 業	▲39.2	→	▲ 5.7	(+33.5)																																							
サービス業	▲54.9	→	▲36.3	(+18.6)																																							
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状]</p> <p>■売上高</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>売上 (加工) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲52.0 P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>完成工事 (請負工事) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲24.5 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>売上額</td> <td>前年同期比D I 値=▲50.7 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>売上 (収入) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲47.7 P</td> </tr> </table> <p>■売上単価</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>売上 (加工) 単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲14.0 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>客単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲22.9 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>客単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲28.4 P</td> </tr> </table> <p>[見通し]</p> <p>■売上高</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>売上 (加工) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲36.0 P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>完成工事 (請負工事) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲ 4.5 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>売上額</td> <td>前年同期比D I 値=▲36.1 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>売上 (収入) 額</td> <td>前年同期比D I 値=▲58.4 P</td> </tr> </table> <p>■売上単価</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>売上 (加工) 単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲22.0 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>客単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲21.7 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>客単価</td> <td>前年同期比D I 値=▲21.5 P</td> </tr> </table>	製 造 業	売上 (加工) 額	前年同期比D I 値=▲52.0 P	建 設 業	完成工事 (請負工事) 額	前年同期比D I 値=▲24.5 P	小 売 業	売上額	前年同期比D I 値=▲50.7 P	サービス業	売上 (収入) 額	前年同期比D I 値=▲47.7 P	製 造 業	売上 (加工) 単価	前年同期比D I 値=▲14.0 P	小 売 業	客単価	前年同期比D I 値=▲22.9 P	サービス業	客単価	前年同期比D I 値=▲28.4 P	製 造 業	売上 (加工) 額	前年同期比D I 値=▲36.0 P	建 設 業	完成工事 (請負工事) 額	前年同期比D I 値=▲ 4.5 P	小 売 業	売上額	前年同期比D I 値=▲36.1 P	サービス業	売上 (収入) 額	前年同期比D I 値=▲58.4 P	製 造 業	売上 (加工) 単価	前年同期比D I 値=▲22.0 P	小 売 業	客単価	前年同期比D I 値=▲21.7 P	サービス業	客単価	前年同期比D I 値=▲21.5 P
製 造 業	売上 (加工) 額	前年同期比D I 値=▲52.0 P																																									
建 設 業	完成工事 (請負工事) 額	前年同期比D I 値=▲24.5 P																																									
小 売 業	売上額	前年同期比D I 値=▲50.7 P																																									
サービス業	売上 (収入) 額	前年同期比D I 値=▲47.7 P																																									
製 造 業	売上 (加工) 単価	前年同期比D I 値=▲14.0 P																																									
小 売 業	客単価	前年同期比D I 値=▲22.9 P																																									
サービス業	客単価	前年同期比D I 値=▲28.4 P																																									
製 造 業	売上 (加工) 額	前年同期比D I 値=▲36.0 P																																									
建 設 業	完成工事 (請負工事) 額	前年同期比D I 値=▲ 4.5 P																																									
小 売 業	売上額	前年同期比D I 値=▲36.1 P																																									
サービス業	売上 (収入) 額	前年同期比D I 値=▲58.4 P																																									
製 造 業	売上 (加工) 単価	前年同期比D I 値=▲22.0 P																																									
小 売 業	客単価	前年同期比D I 値=▲21.7 P																																									
サービス業	客単価	前年同期比D I 値=▲21.5 P																																									

[現状・見通し]

- 食料品製造業（水産食料品：留萌）
 - ・現状：減少。
 - ・見通し：減少。
- 木材・木製品製造業（一般製材）
 - ・現状：事業者によって下記の声があった。
 - ・売上高は3月期でようやく前年を上回るが、一昨年比では80%位、単価は横ばい推移。
 - ・売上高前年比104% 売上単価前年比同等。
 - ・年度売上前年比92%。
 - ・見通し：事業者によって下記の声があった。
 - ・売上は少しずつ回復の兆しがあり、単価は昨年以下がった分を6月までに戻す予定。
 - ・売上高前年比同等、売上単価前年比105%。
- 紙・紙加工品製造業（加工紙）
 - ・現状：やや悪い（前年同期と比較すると横ばい）。
 - ・見通し：悪い。
- 印刷業
 - ・現状：売上高→減少、売上単価→横ばい。
 - ・見通し：売上高→横ばい、売上単価→横ばい。
- 窯業・土石製品製造業（生コン）
 - ・現状：売上単価は上昇傾向。
 - ・見通し：売上単価は上昇傾向。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・現状：売上は減少。
 - ・見通し：修繕船が好調で売上増加予想。
- 一般機器製造業（金属工作機械：札幌）
 - ・現状：年度末の繁忙期となる3月期においても、例年の8割程度の売上高だった。
 - ・見通し：このまま推移すると思われる。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・現状：生活必需品は順調だが、ビジネス関連商品等は不調。
 - ・見通し：首都圏の緊急事態宣言で悪化の見通し。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - ・現状：取扱高が右肩上がりでも良好だった（～4月末迄）。
 - ・見通し：変異型ウイルスの蔓延で悪化しそうである。
- 小売業（各種商品：函館）
 - ・現状：

GOT商店街を活用して実施した『函館朝市&駅前大門 地域連携フェア』が無事終了し、緊急事態宣言で度重なる中止要請を受け、急遽企画を変更した通販企画の函館朝市&駅前大門「玉手箱」は外出自粛の社会情勢も相まって今も申し込みが続いている。今後の新たな駅前連携に大いに活用できる取り組みとなったのではないかと期待を感じている。
 - ・見通し：

今年のGWは、緊急事態宣言や休業要請もないので、ほぼ全店舗が通常どおり営業予定。但し、初日は人もまばらで静かなスタートとなり、又、GW後の先行きも全く見通しが立たず、不安に感じている。唯一、GW中の5月2日にクルーズ船の寄港が再開となり、今年度は計10回の入港が予定されているが、初回の客船で乗客1人が新型コロナウイルスに感染したため早速中止となり、今後の景況を占う意味でも動向に注目していたので非常に残念である。
- 小売業（電気機械器具）
 - ・現状：少し減少。
 - ・見通し：横ばい。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現状：昨年並み。
 - ・見通し：少し良くなる。

〔現状・見通し〕

- サービス業（公衆浴場）
 - ・現 状：特に悪化している状況はない。
 - ・見通し：休業要請がなければ横ばい。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現 状：首都圏の大手企業や大手システム会社からの年度末を迎えての駆け込み発注によって、受注した道内の中小IT企業の売り上げ増に少なからず貢献した。
 - ・見通し：製造業を中心とした発注元の業績回復によって、新年度のシステム開発への投資が積極化する見込みのため、来期（4月以降）は受注案件が増加して売上の拡大が予測されている。
- サービス業（自動車整備）
 - ・現 状：昨年と同じ売上となった。
 - ・見通し：継続検査（車検）の台数統計では、来期の台数は過去の実績から見ると増加傾向になる予定であるので、売上は「やや良い」と予想される。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現 状：良くならないまま現状維持。ただし、ダンプは3月の降雪による除排雪関係の出動で忙しかったようだ。
 - ・見通し：コロナで緊急事態宣言下、移動の自粛により、一部は良くなるが、大方の企業は、減ると思われる。

(3) 原材料、燃料、仕入価格

分 野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0.6%が下落、57.9%が上昇。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 66.1%が上昇。（下落の回答は0社）
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期に比べ、特に変化なし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来期も同様の見通し。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変化なし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変化なし。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原料・燃料・仕入価格とも高騰している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの収束が見通せない中では、今後も同様に推移すると予測される。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年並み。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期より原材料、仕入価格は下降。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年同期比不変。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年並み。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料、仕入価格は前期比上昇の見込み。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不変の見込み。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横ばい。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不透明。
建 設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材の調達は、「困難」傾向が続いている。 ・ 資材価格は、「上昇」傾向が続いている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材の調達は、「困難」傾向が続く見通しとなっている。 ・ 資材価格は、「上昇」傾向が強まる見通しとなっている。

<p>運 輸</p>	<p>[現状] ・燃料（軽油）価格は、前期と比べ値上がり傾向。</p> <p>[見通し] ・燃料（軽油）価格は、原油価格世界情勢に左右されるので不透明。</p>																								
<p>経済団体 （商工会 連合会）</p>	<p>[現状]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>原材料仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値=22.0 P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>材料仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値=22.7 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>商品仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値=12.1 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>仕入単価（材料等）</td> <td>前年同期比D I 値=10.9 P</td> </tr> </table> <p>[見通し]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>原材料仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値=24.0 P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>材料仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値=18.6 P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>商品仕入単価</td> <td>前年同期比D I 値= 4.8 P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>仕入単価（材料等）</td> <td>前年同期比D I 値= 9.1 P</td> </tr> </table>	製 造 業	原材料仕入単価	前年同期比D I 値=22.0 P	建 設 業	材料仕入単価	前年同期比D I 値=22.7 P	小 売 業	商品仕入単価	前年同期比D I 値=12.1 P	サービス業	仕入単価（材料等）	前年同期比D I 値=10.9 P	製 造 業	原材料仕入単価	前年同期比D I 値=24.0 P	建 設 業	材料仕入単価	前年同期比D I 値=18.6 P	小 売 業	商品仕入単価	前年同期比D I 値= 4.8 P	サービス業	仕入単価（材料等）	前年同期比D I 値= 9.1 P
製 造 業	原材料仕入単価	前年同期比D I 値=22.0 P																							
建 設 業	材料仕入単価	前年同期比D I 値=22.7 P																							
小 売 業	商品仕入単価	前年同期比D I 値=12.1 P																							
サービス業	仕入単価（材料等）	前年同期比D I 値=10.9 P																							
製 造 業	原材料仕入単価	前年同期比D I 値=24.0 P																							
建 設 業	材料仕入単価	前年同期比D I 値=18.6 P																							
小 売 業	商品仕入単価	前年同期比D I 値= 4.8 P																							
サービス業	仕入単価（材料等）	前年同期比D I 値= 9.1 P																							
<p>経済団体 （中小企業 団体中央会）</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：悪い。 ・見通し：やや良い。 <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：事業者によって下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・前期から変化なし。 ・原木の注文が増えてきているが、出材及び価格は横ばい。 ・原木入荷量 前年比 トド100% カラ69% ・原木仕入価格 前年同等。 ・輸入原木価格 前年より 4,000～5,000 円/m3 程度上昇。 ・見通し：事業者によって下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・原料は入荷時期に合わせて値上がりする見込み。 ・原木不足・価格高騰が懸念される。 <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：変化なし。 ・見通し：変化なしと思われる。 <p>○印刷業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：横ばい。 ・見通し：横ばい。 <p>○窯業・土石製品製造業（生コン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：原材料費、人件費、輸送費等が増加傾向。 ・見通し：原材料費、人件費、輸送費等が増加傾向。 <p>○一般機器製造業（金属工作機械：札幌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：燃料価格は高騰した。 ・見通し：低下を期待。 <p>○卸売業（各種商品：札幌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：諸外国の経済復活で輸入価格が上昇傾向。 ・見通し：今後も同様の見込み。 <p>○卸売業（野菜・果実：札幌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：高値推移である。 ・見通し：売上減少の影響で下落しそうである。 																								

[現状・見通し]

- 小売業（各種商品：函館）
 - ・現 状：今年度の道南スルメイカ漁が1月末で終了し、函館市水産物地方卸売市場での生鮮スルメイカ取扱量（昨年6月～今年1月末）は、前年比42%減の436トンと過去最低を更新した模様。1キロ平均単価も新型コロナウイルスの影響で同2%（16円）低い836円で、飲食店やホテルでの需要が減退して伸び悩んだ要因が大きかった様子。
 - ・見通し：函館市が新年度から新たに事業開始する「国内初のキングサーモンの完全養殖事業」のニュースは、昨今、年々漁獲量が減っているスルメイカに変わる新たな函館ブランドとして地元水産業界からも大きな注目が集まっている。
- 小売業（電気機械器具）
 - ・現 状：不変。
 - ・見通し：不変。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現 状：上昇。
 - ・見通し：さらに上昇する。
- サービス業（公衆浴場）
 - ・現 状：特になし。
 - ・見通し：燃料代・飲物の仕入価格の高騰は経営を圧迫する。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現 状：発注元へのシステム開発単金（単価）の値上げ交渉はなかなか難しい状況。そのため、今まで同様、非正規社員雇用の抑制、残業削減や不要不急の出張禁止等の経費節減策によって原価低減を図ってきている。
 - ・見通し：システム開発案件が増加すると、その対応のために人材確保が必要であるが、一朝一夕に必要な人材を採用するのは難しい。人材確保に伴う人件費の上昇は避けられず、来期以降も出張抑制や経費節減等の実施を継続する道内中小IT企業が多いと思われる。
- サービス業（自動車整備）
 - ・現 状：横ばい。
 - ・見通し：やや良い。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現 状：コロナワクチンの普及状況が経済活動に大きく影響するため、原油価格が上昇していた。
 - ・見通し：今後も同じ様相であると見込まれる。

(4) 収益

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17%が増加、46.8%が減少。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11.1%が増加、55%が減少。
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期と同様に、多くの企業がやや減益。ただ、コロナ禍で出張等の経費が削減でき、減益幅はあまり大きくない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来期も同様の見通し。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低下しそう。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼすべての業種で厳しい状況が続いている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中では、今後も厳しい状況が続くと見込まれる。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年並み。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比若干悪い。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年と比べて利益率が増加。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・増益を見込む。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比若干悪い見通し。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年以上の収益を見込んでいる。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に悪い。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に悪い。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年比 80～90%減。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪化の見通し。

建設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向がやや弱まっている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向が強まる見通しとなっている。 																														
運輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による輸送量の減少に加え、燃料価格も上昇しており、収益は減少傾向。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来期についても今期同様の傾向が続く見通し。 																														
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>【採算D I】 現 状 → 見通し（現状との差）</p> <table border="0"> <tr> <td>全 業 種</td> <td>▲25.5</td> <td>→</td> <td>▲28.6</td> <td>（ -3.1）</td> </tr> <tr> <td>製 造 業</td> <td>▲33.9</td> <td>→</td> <td>▲32.1</td> <td>（ +1.8）</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>0.0</td> <td>→</td> <td>▲28.8</td> <td>（-28.8）</td> </tr> <tr> <td>卸 売 業</td> <td>▲28.8</td> <td>→</td> <td>▲35.6</td> <td>（ -6.8）</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>▲32.4</td> <td>→</td> <td>▲20.0</td> <td>（+12.4）</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>▲32.3</td> <td>→</td> <td>▲26.6</td> <td>（ +5.7）</td> </tr> </table>	全 業 種	▲25.5	→	▲28.6	（ -3.1）	製 造 業	▲33.9	→	▲32.1	（ +1.8）	建 設 業	0.0	→	▲28.8	（-28.8）	卸 売 業	▲28.8	→	▲35.6	（ -6.8）	小 売 業	▲32.4	→	▲20.0	（+12.4）	サービス業	▲32.3	→	▲26.6	（ +5.7）
全 業 種	▲25.5	→	▲28.6	（ -3.1）																											
製 造 業	▲33.9	→	▲32.1	（ +1.8）																											
建 設 業	0.0	→	▲28.8	（-28.8）																											
卸 売 業	▲28.8	→	▲35.6	（ -6.8）																											
小 売 業	▲32.4	→	▲20.0	（+12.4）																											
サービス業	▲32.3	→	▲26.6	（ +5.7）																											
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲46.0P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲17.7P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲53.0P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>前年同期比D I 値=▲65.8P</td> </tr> </table> <p>[見通し]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲28.0P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲15.9P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲32.5P</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>前年同期比D I 値=▲41.0P</td> </tr> </table>	製 造 業	前年同期比D I 値=▲46.0P	建 設 業	前年同期比D I 値=▲17.7P	小 売 業	前年同期比D I 値=▲53.0P	サービス業	前年同期比D I 値=▲65.8P	製 造 業	前年同期比D I 値=▲28.0P	建 設 業	前年同期比D I 値=▲15.9P	小 売 業	前年同期比D I 値=▲32.5P	サービス業	前年同期比D I 値=▲41.0P														
製 造 業	前年同期比D I 値=▲46.0P																														
建 設 業	前年同期比D I 値=▲17.7P																														
小 売 業	前年同期比D I 値=▲53.0P																														
サービス業	前年同期比D I 値=▲65.8P																														
製 造 業	前年同期比D I 値=▲28.0P																														
建 設 業	前年同期比D I 値=▲15.9P																														
小 売 業	前年同期比D I 値=▲32.5P																														
サービス業	前年同期比D I 値=▲41.0P																														
<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>○食料品製造業（水産食料品：留萌）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：悪い。 ・見通し：やや良い。 <p>○木材・木製品製造業（一般製材）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：事業者によって下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・前期より回復しているが、売上減の中では、収益確保は難しい。 ・コスト増により前年比48%、年度収益前年比85% ・見通し：事業者によって下記の声があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・緩やかな回復基調を想定している。 <p>○紙・紙加工品製造業（加工紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：やや悪化。 ・見通し：悪いと推測する。 <p>○印刷業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 状：悪い。 ・見通し：やや悪い。 																														

[現状・見通し]

- 窯業・土石製品製造業（生コン）
 - ・現 状：変わらず。
 - ・見通し：変わらず。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・現 状：低受注物件が多数で収益は減少。
 - ・見通し：収益は不変。
- 一般機器（金属工作機械：札幌）
 - ・現 状：売上高に連動し、年度末の繁忙期となる3月期においても、例年の8割程度。
 - ・見通し：このまま推移。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・現 状：扱い品目により好不調の差が拡大傾向。
 - ・見通し：引き続き格差が広がる見込み。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - ・現 状：良好である。
 - ・見通し：悪化しそうである。
- 小売業（各種商品：函館）
 - ・現 状：「GoTo商店街」を活用して実施した『函館朝市&駅前大門 地域連携フェア』のメイン企画であった「クイズラリービンゴ」が途中で打ち切りとなったこともあり、過去3回で最低の応募数233件と例年の半分以下の結果と大変残念な実績となった。
 - ・見通し：政府の緊急事態宣言の3月7日までの延長は、ある程度予想どおりで致し方ない面はあるものの日に日に体力勝負となっており、現場は落胆している。GoToトラベルの「地域共通クーポン」の経済効果は函館朝市において1億円以上の売上規模と非常に大きかったため、閑散期中途半端なまま再開するのではなく、閑散期でしっかりと感染を抑え、旅行者が少しでも安心して旅行できるタイミングで（春休みや卒業・新入学シーズン、GWなどに向けて）大規模に再開していただきたい。
- 小売業（電気機械器具）
 - ・現 状：少し減少。
 - ・見通し：横ばい。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現 状：昨年並み。
 - ・見通し：少し良くなる。
- サービス業（公衆浴場）
 - ・現 状：変動なし。
 - ・見通し：あまり期待できない。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現 状：売上高の伸長、出張の抑制、人件費や経費削減、そして政府助成策によって収益を確保できた道内小IT企業が多かった。しかし、年度前半のマイナス分を取り戻すことは難しかった。
 - ・見通し：受注案件が増加して売上げの回復が予測されているものの、人件費の上昇が予測されて収益へのインパクトが大きく、大幅な回復は期待できないのではないかとの懸念がある。
- サービス業（自動車整備）
 - ・現 状：横ばい。
 - ・見通し：やや良い。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現 状：運搬している物資によって上下があるが、全般的には収益は減少している。
 - ・見通し：現状と変わりなく推移すると思われる。新型コロナウイルスの感染拡大状況による。

(5) 設備投資

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9.9%が増加、12.9%が困難。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10.3%が増加、13.8%が困難。
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、新規投資は見受けられない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来期も同様の見通し。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修、コロナ対策を含む。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補修、コロナ対策。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大による業績不振等により、設備投資に向かう事業者は極めて少ない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中では、投資に向かう事業者は極めて少ないと予測される。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進中投資の継続のみ。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続中投資のみ。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ プッシュバックラックの導入。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動きなし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に動かない。

建設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減少している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する見込みとなっている。 																														
運輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益が悪化している状況であり、設備投資は進んでいない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響による収益悪化の改善見通しが立たない為、しばらくの間、設備投資は進まない見通し。 																														
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>【設備投資】 現状 → 見通し (現状との差)</p> <table border="0"> <tr> <td>全業種</td> <td>14.7</td> <td>→</td> <td>19.0</td> <td>(+4.3)</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>13.2</td> <td>→</td> <td>25.0</td> <td>(+11.8)</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>19.7</td> <td>→</td> <td>21.1</td> <td>(+1.4)</td> </tr> <tr> <td>卸売業</td> <td>13.2</td> <td>→</td> <td>13.0</td> <td>(-0.2)</td> </tr> <tr> <td>小売業</td> <td>9.0</td> <td>→</td> <td>16.4</td> <td>(-7.4)</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>18.4</td> <td>→</td> <td>19.6</td> <td>(+1.2)</td> </tr> </table>	全業種	14.7	→	19.0	(+4.3)	製造業	13.2	→	25.0	(+11.8)	建設業	19.7	→	21.1	(+1.4)	卸売業	13.2	→	13.0	(-0.2)	小売業	9.0	→	16.4	(-7.4)	サービス業	18.4	→	19.6	(+1.2)
全業種	14.7	→	19.0	(+4.3)																											
製造業	13.2	→	25.0	(+11.8)																											
建設業	19.7	→	21.1	(+1.4)																											
卸売業	13.2	→	13.0	(-0.2)																											
小売業	9.0	→	16.4	(-7.4)																											
サービス業	18.4	→	19.6	(+1.2)																											
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状]</p> <p>製造業 回答 50 社の内、6 社実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産設備 = 3 社 ・車両運搬具、工場建物、福利厚生施設 = 各 1 社 <p>建設業 回答 45 社の内、7 社実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設機械 = 3 社 ・車両運搬具 = 2 社 ・土地、OA機器 = 各 1 社 <p>小売業 回答 84 社の内、8 社実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両運搬具 = 4 社 ・OA機器 = 2 社 ・店舗、その他 = 各 1 社 <p>サービス業 回答 102 社の内、4 社実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス = 2 社 ・付帯設備、その他 = 1 社 <p>[見通し]</p> <p>製造業 回答 50 社の内、5 社計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産設備 = 2 社 ・付帯設備 = 2 社 ・車両運搬具 = 1 社 <p>建設業 回答 45 社の内、5 社計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OA機器 = 2 社 ・土地、建物、建設機械 = 各 1 社 <p>小売業 回答 84 社の内、5 社計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗、車両運搬具 = 各 2 社 ・販売設備 = 1 社 <p>サービス業 回答 102 社の内、9 社計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス = 4 社 ・建物 = 3 社 ・OA機器 = 2 社 ・土地、その他 = 各 1 社 																														

[現状・見通し]

- 食料品製造業（水産食料品：留萌）
 - ・現状：なし。
 - ・見通し：なし。
- 木材・木製品製造業（一般製材）
 - ・現状：必要最低限の修理及び部品交換等。
 - ・見通し：必一部加工機械の効率化を図る予定であるが、少額に留まる予定。
- 紙・紙加工品製造業（加工紙）
 - ・現状：なし。
 - ・見通し：考えていない。
- 印刷業
 - ・現状：悪い。
 - ・見通し：悪い。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・現状：設備投資なし。
 - ・見通し：屋外クレーン補修工事。
- 一般機器製造業（金属工作機械：札幌）
 - ・現状：機械リースの延長等。新たな投資には踏み込めない。
 - ・見通し：このまま推移。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・現状：低調。
 - ・見通し：低調。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - ・現状：横ばい。
 - ・見通し：横ばい。
- 小売業（各種商品：函館）
 - ・現状：事業者による設備投資ではないが、3月28日に函館新外環状道路の空港道路の全線開通、26日に北海道新幹線開業5周年を迎えるほか、宅配サービスのウォルトが25日からサービス開始、その後ウーバーなども追隨してサービス開始する予定。
 - ・見通し：開業が延期となっていた2つのホテル「東急ステイ函館朝市灯の湯」と「スマイルホテルプレミアム函館五稜郭」が4月に開業する。又、北斗市の新幹線駅前に3棟目ホテル建設、函館市本町の複合商業施設シエスタは大規模リニューアルを予定している。
- 小売業（電気機械器具）
 - ・現状：不変。
 - ・見通し：不変。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現状：大手の事業者は社屋の建設等を従来の計画どおり進めている。
 - ・見通し：大手は計画どおりすすめているが中小は控えている。
- サービス業（公衆浴場）
 - ・現状：変化なし。
 - ・見通し：いくつかの施設は予定あり。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現状：コロナ禍の影響による収益の悪化が新規の設備投資の抑制となり、必要最小限に留めた道内中小IT企業が多かった。
 - ・見通し：今後の変異ウイルスの感染状況にもよるが、人件費の上昇は避けられないものの、開発案件の増加の明るい見通しによって収益改善が期待されるため、継続して必要最小限な設備投資が実行できると予測している。
- サービス業（自動車整備）
 - ・現状：やや減少。
 - ・見通し：やや減少。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現状：計画的に行っている。
 - ・見通し：計画的に実行する見通し。

(6) 雇用

分野	内 容
機 械	<p>[人手過不足の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足と感じている企業 55.6%。 <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求人枠を減らす。 <p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中途採用の開始、若年層・新卒採用の強化。
I T	<p>[人手過不足の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足感は、コロナの影響で一時低下したものの依然高水準。 <p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来春も今年と同程度の採用予定の企業が多い。
食 品 (菓 子)	<p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来期の新卒採用。
商 店 街	<p>[人手過不足の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大による業績不振で、雇用の維持もままならない。 <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引き、雇用調整助成金による支援がなくなれば、雇用調整を行う必要が出てくる。 <p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定なし。
卸売市場	<p>[人手過不足の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では適正。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業パート職員若干不足。 <p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 来期には予定なし。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定なし。
卸売市場	<p>[人手不足の場合の採用の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 例年通り採用。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都度実施。

<p>観 光 (ホテル業)</p>	<p>[人手過不足の現状] ・ 人員過剰。離職者もみられる。</p> <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の予定] ・ 助成金などの活用を続けている。</p>
<p>建 設</p>	<p>[人手過不足の現状] ・ 建設労働者の確保は、困難傾向がやや強まっており、今後も困難傾向が続く見通し。また、賃金の上昇傾向が続いており、今後は上昇傾向がやや強まる見通し。</p> <p>[人手不足の場合の採用の予定] ・ 各社、技術者及び技能労働者の募集を行っているが、不足分は、派遣職員で補っている。</p>
<p>運 輸</p>	<p>[人手過不足の現状] ・ 新規雇用が進んでおらず、ドライバーの高齢化等により、ドライバー不足の状況が続いている。</p> <p>[人手不足の場合の採用の予定] ・ 業界としてドライバー採用拡大を図りたいが、担い手が集まらない状況。また、コロナ禍による業績悪化で賃金アップ等の労働環境の改善も進まず、雇用にも影響が出ている。</p>
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>【雇用動向】 現 状</p> <p>全 業 種 ▲ 9.7</p> <p>製 造 業 1.7</p> <p>建 設 業 ▲29.1</p> <p>卸 売 業 ▲ 3.5</p> <p>小 売 業 ▲ 7.6</p> <p>サービス業 ▲10.2</p>
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[人手過不足の現状]</p> <p>【製 造 業】 前年同期比D I 値＝▲ 7.0P 来期見通しD I 値＝▲ 6.8P</p> <p>【建 設 業】 前年同期比D I 値＝▲11.6P 来期見通しD I 値＝▲ 9.5P</p> <p>【小 売 業】 前年同期比D I 値＝▲ 5.0P 来期見通しD I 値＝▲ 6.7P</p> <p>【サービス業】 前年同期比D I 値＝▲ 7.3P 来期見通しD I 値＝▲ 7.2P</p>

〔人手過不足の状況〕

- 食料品製造業（水産食料品：留萌）
 - ・現 状：現状不足なし、来期は不足。
 - ・見通し：現状雇用調整あり、来期はなし。
- 木材・木製品製造業（一般製材）
 - ・現 状：地方工場は慢性的な人手不足。林業では造林作業員の人手が不足している。正規、非正規とも足りない。
 - ・見通し：ハローワーク等で募集中であるが、応募なし。
- 紙・紙加工品製造業（加工紙）
 - ・現 状：足りている。
- 印刷業
 - ・現 状：足りている。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・現 状：現状は過剰人員が発生しているが来期は現人員で稼働可能。
 - ・見通し：余剰の場合は道内造船所へ出張（高齢者は一時帰休）。
- 一般機器製造業（金属工作機械：札幌）
 - ・現 状：足りている。
 - ・見通し：余剰の場合は助成金等を活用。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・現 状：扱い品目等により人員削減の動きと増員の動きが錯綜している。
 - ・見通し：余剰の企業は希望退職を募る一方、不足の企業は新卒の採用を増員するなどの対応を取っている。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - ・現 状：人手については充足傾向である。
- 小売業（電気機械器具）
 - ・現 状：変わらず。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現 状：大手は過不足なし、中小は人手不足。
 - ・見通し：中小は採用予定だが応募者が少ない。
- サービス業（公衆浴場）
 - ・現 状：家族経営が主なので変わらない。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現 状：コロナ禍による業績悪化で前年から非正規社員雇用の縮小、離職者不補充で事業経営を進めてきたが、年度後半の駆け込みのシステム開発案件の受注や4月以降の案件拡大予測によって、一転して人材確保が叫ばれている。
 - ・見通し：道内のIT企業に必要なのは即戦力の技術者の採用であるが、希望に叶う人材の採用はきわめて難しいため、シニア技術者や子育て中の在宅女性、ギグワーカーの副業等まで拡大して募集するなど、厳しい状態が続いている。
- サービス業（自動車整備）
 - ・現 状：若年労働者の人材を確保したいが難しい。
 - ・見通し：若年労働者の人材を確保したいが難しい。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現 状：今までと変わりなく不足している。定年退職した分の若手補充が十分されていない。なり手がいない。
 - ・見通し：常に職安に募集を出し続けて、人材を育てている状況。

(7) 資金繰り

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3.5%が好転、9.9%が悪化。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2.3%が好転、8.8%が悪化。
I T	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に問題なし。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不足の状況にまで陥ってはいない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不足の状況にまで陥ってはいない。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大による景況の悪化より、資金繰りは引き続き厳しい状況にある。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中では、今後も厳しい状況が続くと予測される。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的に推移。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな変化なし。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に問題なし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的に推移の見通し。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな変化なし。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に問題なし。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金などで維持している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金、支援金が途絶えると厳しい。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪化。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回復の兆しは見えない。更に厳しくなるかも。
建 設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容易傾向が続いている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容易傾向が続く見通し。

運 輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員からは特に問題は聞かれない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が続いており収益減少に歯止めがかからないため、今後の資金繰りの悪化が懸念される。 																														
金 融	<p>[現状]</p> <p>○保証状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度(3月末時点)の保証承諾は79,660件(前年同月比269.3%)、1,455,263百万円(前年同月比432.5%)となり、新型コロナウイルスの影響を受け大幅に増加した。 ・業種別(主要業種)では、建設業389,924百万円(前年同月比411.5%)、サービス業278,356百万円(前年同月比492.3%)、卸売業186,721百万円(前年同月比404.6%)、小売業166,655百万円(前年同月比392.0%)、製造業145,514百万円(前年同月比408.4%)となった。 <p>○代位弁済状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度(3月末時点)の代位弁済は、545件(前年同月比45.7%)、4,567百万円(前年同月比50.2%)となり、新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業者への積極的な保証支援や柔軟な返済緩和対応等を背景にリーマンショック以降最少となった。 ・業種別(主要業種)では、建設業1,204百万円(前年同月比58.4%)、卸売業965百万円(前年同月比59.7%)、小売業646百万円(前年同月比60.1%)、サービス業471百万円(前年同月比39.6%)、製造業425百万円(前年同月比28.5%)となった。 																														
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>【資金繰りD I】 現 状 → 見通し(現状との差)</p> <table border="0"> <tr> <td>全 業 種</td> <td>▲21.8</td> <td>→</td> <td>▲19.2</td> <td>(+2.6)</td> </tr> <tr> <td>製 造 業</td> <td>▲37.7</td> <td>→</td> <td>▲26.3</td> <td>(+11.0)</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>▲12.3</td> <td>→</td> <td>▲13.7</td> <td>(-1.4)</td> </tr> <tr> <td>卸 売 業</td> <td>▲18.6</td> <td>→</td> <td>▲22.0</td> <td>(-3.4)</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>▲17.4</td> <td>→</td> <td>▲14.5</td> <td>(+2.9)</td> </tr> <tr> <td>サービ業</td> <td>▲23.4</td> <td>→</td> <td>▲19.6</td> <td>(+3.8)</td> </tr> </table>	全 業 種	▲21.8	→	▲19.2	(+2.6)	製 造 業	▲37.7	→	▲26.3	(+11.0)	建 設 業	▲12.3	→	▲13.7	(-1.4)	卸 売 業	▲18.6	→	▲22.0	(-3.4)	小 売 業	▲17.4	→	▲14.5	(+2.9)	サービ業	▲23.4	→	▲19.6	(+3.8)
全 業 種	▲21.8	→	▲19.2	(+2.6)																											
製 造 業	▲37.7	→	▲26.3	(+11.0)																											
建 設 業	▲12.3	→	▲13.7	(-1.4)																											
卸 売 業	▲18.6	→	▲22.0	(-3.4)																											
小 売 業	▲17.4	→	▲14.5	(+2.9)																											
サービ業	▲23.4	→	▲19.6	(+3.8)																											
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲20.4P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲ 0.0P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲33.7P</td> </tr> <tr> <td>サービ業</td> <td>前年同期比D I 値=▲42.0P</td> </tr> </table> <p>[見通し]</p> <table border="0"> <tr> <td>製 造 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲20.4P</td> </tr> <tr> <td>建 設 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲ 2.3P</td> </tr> <tr> <td>小 売 業</td> <td>前年同期比D I 値=▲29.3P</td> </tr> <tr> <td>サービ業</td> <td>前年同期比D I 値=▲43.9P</td> </tr> </table>	製 造 業	前年同期比D I 値=▲20.4P	建 設 業	前年同期比D I 値=▲ 0.0P	小 売 業	前年同期比D I 値=▲33.7P	サービ業	前年同期比D I 値=▲42.0P	製 造 業	前年同期比D I 値=▲20.4P	建 設 業	前年同期比D I 値=▲ 2.3P	小 売 業	前年同期比D I 値=▲29.3P	サービ業	前年同期比D I 値=▲43.9P														
製 造 業	前年同期比D I 値=▲20.4P																														
建 設 業	前年同期比D I 値=▲ 0.0P																														
小 売 業	前年同期比D I 値=▲33.7P																														
サービ業	前年同期比D I 値=▲42.0P																														
製 造 業	前年同期比D I 値=▲20.4P																														
建 設 業	前年同期比D I 値=▲ 2.3P																														
小 売 業	前年同期比D I 値=▲29.3P																														
サービ業	前年同期比D I 値=▲43.9P																														

[現状・見通し]

- 食料品製造業（水産食料品：留萌）
 - ・現状：悪い。
 - ・見通し：やや悪い。
- 木材・木製品製造業（一般製材）
 - ・現状：横ばいの状態だが、事業者によっては、借入増。
 - ・見通し：横ばいのままか、先行きは不透明。
- 紙・紙加工品製造業（加工紙）
 - ・現状：必要なし。
 - ・見通し：悪化。
- 印刷業
 - ・現状：横ばい。
 - ・見通し：横ばい。
- 鉄鋼・金属製造業（金属製品：室蘭）
 - ・現状：手形サイト変更なく資金繰り不変。
 - ・見通し：不変。
- 卸売業（各種商品：札幌）
 - ・現状：コロナ対策の借入で資金繰りに余裕を持たせている。
 - ・見通し：経済活動の自粛が長引けば返済負担が大きくなる。
- 卸売業（野菜・果実：札幌）
 - ・現状：良好である。
 - ・見通し：悪化しそうである。
- 小売業（各種商品：函館）
 - ・現状：政府の緊急事態宣言によって、国の一時支援金に期待するものの新年度までは待ってられない窮状であり、年末のギフト販売の余力も2月までが精いっぱい、来月には手許資金が底をつく厳しい情勢。このままだと廃業を考える店舗が頻発し、3月の動向がキーとなる。休業補償や雇用維持などの経営に関わる支援策、新年度ではなく年度内の3月単独での売上施策あるいは休業補償などの支援策をお願いしたい。
 - ・見通し：新型コロナウイルスの影響により、無金利の融資制度を活用したのが、およそ一年前。そろそろ元本の返済が始まる時期となり、売上促進の支援策が何も成されていない現状では、返済原資が全く生み出せないままの苦しい経営状況になる。助成金制度を一度だけではなく状況に合わせて何度か実施するなど効果的な支援対策をお願いしたい。
- 小売業（電気機械器具製造業）
 - ・現状：問題ない。
 - ・見通し：問題ない。
- 小売業（農業用機械器具）
 - ・現状：大手、中小とも順調。
 - ・見通し：大手、中小とも順調。
- サービス業（公衆浴場）
 - ・現状：変化なし。
 - ・見通し：変化なし。
- サービス業（ソフトウェア）
 - ・現状：設備投資や運営資金が必要な場合は取引銀行からの融資で賄い、政府が推進する各種補助金、助成金を活用して資金繰りに対応してきた。
 - ・見通し：今後も同様の動きとなる見通しだが、余程変異ウイルスの感染拡大が国内経済に大きな影響を与えない限り、案件の受注増加によって業績上昇につながるため資金繰りへの影響はなくなるのではないかと。
- サービス業（自動車整備業）
 - ・現状：横ばい。
 - ・見通し：横ばい。
- 運輸業（一般貨物自動車運送：小樽）
 - ・現状：今のところはあまり影響ない。
 - ・見通し：厳しくなると思われる。コロナ禍によって、以前のような給付金が活用できるものと思われるため、期待したい。

2 業界として抱える問題点・課題について

分野	内 容
機 械	<ul style="list-style-type: none"> ・当会の景況調査において経営上の問題点として、原材料仕入価格上昇が 55.6%、売上不振が 46.8%、人手不足が 35.1%の順となった。
I T	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体システムの標準化・共通化への対応。 ・新入社員の確保とともに、クラウド・A I ・ I o T等新たな技術分野やプロジェクトマネジメントスキルの習得など人材の育成。
食 品 (菓 子)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継承…廃業が増加傾向 ・働き方改革…雇用契約の見直し。
商 店 街	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や人口減少による来街者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業環境の悪化により、会員の退店や廃業、倒産が相次ぎ、商店街組織の維持運営が難しい状況にあり、商店街活動の衰退が懸念される。また、商店街は単に買物やサービスの提供の場だけではなく、地域の公共的な高度生活インフラとしての役割を担っており、まちづくりを支える中核的組織としての位置づけを明確化していく必要がある。
卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な漁業資源減少への危惧と持続可能な水産資源管理の推進。 ・現状(コロナ禍等)での様々な変化に対応すべくデジタル化の促進及び食品流通の見直しと販売戦略の構築。 ・多様化する社会へ順応出来る人材の確保。 ・コロナ禍の中、飲食、観光地向け商材の販売減。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナによる外食産業の低迷及び販売量減少。 ・物流改革及び働き方改革の対策。
観 光 (ホテル業)	<ul style="list-style-type: none"> ・業績改善見込めず、雇用確保も厳しくなっている。対顧客、接客が主たる業務である以上、リモート化は難しい。
建 設	<ul style="list-style-type: none"> ・経営上の問題点は、①人手不足、②従業員の高齢化、③受注の減少、が上位三項目となっており、「人手不足」は 19 期連続で経営上の問題点 1 位。同じく「従業員の高齢化」は 17 期連続で 2 位となっている。
運 輸	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の物流は「広域・長距離輸送」及び「札幌圏集中による片荷輸送」や「一次産品等の季節波動」が顕著であり、加えて運転者不足や高齢化、働き方改革への対応等により「運びたくても運べない」という状況となっており、人材確保や労働規制への対応等の経営課題が山積している。 ・人材確保や労働環境改善を進めるためには、適正な運賃・料金の収受が不可欠であり、そのためには運送委託者(荷主)の理解と協力が必要であるが、他業種も同様の課題を抱えており、改善がなかなか進まない状況であり、対応に苦慮している状況が続いている。 ・上記の既存課題に加えて、コロナ禍の影響による収益減少及び運賃単価の下落等の課題が加わり、状況は悪化している。
経済団体 商工会議所 連合会	<p>製 造 業…1 位 需要の停滞、2 位 生産設備の不足・老朽化、3 位 熟練技術者の確保難</p> <p>建 設 業…1 位 従業員の確保難、2 位 熟練技術者の確保難、3 位 民間需要の停滞</p> <p>卸 売 業…1 位 需要の停滞、2 位 仕入単価の上昇、3 位 大企業の進出による競争の激化</p> <p>小 売 業…1 位 需要の停滞、2 位 消費者ニーズの変化への対応、3 位 購買力の他地域への流出</p> <p>サービス業…1 位 需要の停滞、2 位 利用者ニーズの変化への対応、3 位 利用料金の低下・上昇難</p> <p>※各業種で 1～3 位にあげられた項目</p>

<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>【製造業】 1位：需要の停滞 2位：製品ニーズの変化 3位：熟練技術者の確保難 4位：生産設備の不足・老朽化 5位：その他</p> <p>【建設業】 1位：民間需要の停滞 2位：官公需要の停滞 3位：従業員の確保難 4位：熟練技術者の確保難 5位：人件費の増加</p> <p>【小売業】 1位：需要の停滞 2位：購買力の他地域への流出 3位：大型店・中型店の進出による競争の激化 4位：消費者ニーズの変化 5位：その他</p> <p>【サービス業】 1位：需要の停滞 2位：利用者ニーズの変化 3位：その他 4位：店舗施設の狭隘・老朽化 5位：従業員の確保難</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<p>○食料品製造業（水産食料品：留萌） ・原材料の高騰、電力・人件費等製造経費の高止まり、慢性的人手不足。</p> <p>○木材・木製品製造業（一般製材） ・コロナ禍の影響で先行きが見えない。 ・輸入原木・製材の入荷不足＋価格高騰で、建築需要の低迷。 ・道産原木の輸出・移出による、道内原木不足＋価格高騰。 ・運送業者不足＋輸送費高騰（人材、総輸送量）。 ・地方工場の人材不足（人員数、技術力）。 ・働き方改革による、生産性低下及び人件費・間接コストの高騰。 ・製材生産設備の老朽化による、生産性低下。</p> <p>○印刷業 ・需要の減退、新規需要開拓の低迷、業態変革への対応。</p> <p>○窯業・土石製品製造業（生コン） ・次世代を担う技術者の育成。 ・地方において、生コンを供給する工場体制を維持するためには一定量の需要が必要。このため、地方における生コン需要の創出（コンクリート舗装等）が課題。</p> <p>○一般機器製造業（金属工作機械：札幌） ・チラシ業界の需給構造の変化（新聞等の発行部数の減少や3密を避けるためイベントプロモーションの減少に伴いチラシの発注部数が減少している）。</p> <p>○卸売業（各種商品：札幌） ・全国の卸団地は概ね設立50年を迎え、インフラや共同事業施設の老朽化が課題となっている。</p> <p>○卸売業（野菜・果実：札幌） ・デジタル化、設備老朽化。</p> <p>○小売業（各種商品：函館） ・3月8日に受付開始となった緊急事態宣言に伴う国の一時支援金について、全店舗に情報提供を行い、現在順次申請を行っているが、どの店舗も高齢者が多く、Web申請限定という条件にかなり悪戦苦闘している。</p> <p>○小売業（電気機械器具） ・高齢化による後継者不足。</p> <p>○小売業（燃料） ・コロナ禍の中、北海道では感染を抑え込むための集中対策期間が昨年11月から開始され、不要不急の外出自粛、札幌市、小樽市との不要不急の往来を控えるなどの方針が示されたが、幾度となく期間が延長されたことなどから、企業活動や人の動きが停滞し、主力のガソリン販売は厳しい状況が続いた。一方、灯油は、年明けには厳しい寒波に見舞われたことや巣ごもり需要で販売は好調。こうした中、この間の原油価格は、年初1バレル50ドル前半で始まり、3月には一時70ドル目前まで高騰、その後60ドル前半まで下がったものの、概ね上昇基調で推移した。このコスト上昇分を適正に転嫁できていない一部安値激戦地では、地場中小企業の経営環境は厳しい状況にあるものと思われる。新型コロナウイルス感染者数は、いまだ歯止めがかかっておらず、景気の先行きは依然として不透明で、ガソリンのさらなる需要減が懸念される。</p> <p>○小売業（農業用機械器具） ・農業従事者の高齢化。</p>

<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街（各種商品：帯広） <ul style="list-style-type: none"> ・経営上の問題点・・・売上の停滞・減少、商圈人口の減少、同業者間の競争の激化、利幅の縮小、人手不足、商店街の集客力の低下。 ・当面の重点経営施策・・・経費を節減する、品揃えを改善する、売れ筋商品を取り扱う、人材を確保する、宣伝・広告を強化する、商店街事業を活性化させる。 ○サービス業（公衆浴場） <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の高齢化のみならず利用者の高齢化もすすんでいる。経営の安定化のためには若年層の利用客の取り込みと定着化を図りたい。 ○サービス業（ソフトウェア） <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 <p>前年から一転して人材確保が叫ばれたのは、DX化の進展や政府のデジタル庁設置によって大手企業から中小企業までデジタル化を推進する機運が高まったことだ。デジタル化が進むということは、システム開発が必要であり、そのためには開発技術者が必要ということになる。道内の中小IT企業は必要最小限の採用活動は続けているが、DX人材はIT企業に限らず一般企業でも募集していて、希望する即戦力の人材の採用は人件費の上昇にも絡むため、難しい状況が続いている。</p> ・働き方改革（リモートワーク） <p>システム開発という職種柄、在宅勤務によるリモートワークの実施は他企業に比べて高い比率で、実施企業は80%を越えると思われる。ノウハウの蓄積も進んでいるが、勤務時間管理、特に時間外残業時間の把握の難しさや業務処理に対する評価、上司・同僚との交流やコミュニケーション（会話）不足についての不安やフォローを充実させることが必要との認識が生じている。</p> ○サービス業（自動車整備） <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車の様な次世代自動車などに代表される整備技術の高度化に向けた対応が求められている。 ・若年労働者の人材確保が難しくなっている。 ○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽） <ul style="list-style-type: none"> ・運送業の一番の経費は人件費と燃料代の2つだが、燃料代の価格が安定しないため、人材確保のためになかなか人件費を上げるわけにはいかないのが現状である。また、事業承継は以前から世代交代が進んでいないため、廃業やM&Aが行われている。
--------------------------------	---

3 道の施策等に対する意見、要望について

分野	内容
機械	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業では、人手不足なのは変わらないのが現状。職種変更は厳しいのは理解しているが、そこをつなぐ施策を行って欲しい。 ・雇用調整助成金の特例期間について再々延長を要望。（複数あり） ・税金の軽減をおこなってほしい。（複数あり） ・北海道としてIT環境を早急に整えていくべき。オンライン授業を実施するにも生徒一人に1台ずつのタブレットとWi-Fi環境を充実させ世界の先進国に肩を並べるチャンス。東京周辺の学校でもオンライン授業の環境は不十分で、特に公立校は私立に比べて遅れている。 ・誰も予想が出来ない以上は間違っても構わないので、即断即決スピード感ある実行をお願いしたい。 ・各種団体が行う資格取得に際し、資格取得受験を数カ月前に手続きするが、コロナ感染拡大による感染リスクの不安から受験を控える従業員が発生しており、受験費用は未受験扱いで払い戻しされない。感染リスクが懸念される場合、受験費用が払い戻し可能な制度(施策)を講じて欲しい。また、試験会場の感染リスクがあることも受験者から提示あり。 ・設備投資のできる補助金の金額に見合う機械では、新規の大型機械(IT化)が高価なため、対応できないのが現状。新しい人材は、経験不足からくる見落としが多いため、必要最小限のIT化を進めたい。機械自体が古い大型機械は故障が多く、修理業者が高齢しており修理不能状態となることが多い。 ・コロナの影響を受けた方への速やかな補助を願う。 ・コロナが収まるまで、雇用安定助成金の延長希望。 ・コロナ関連の施策について対応に迷う。(特に営業活動)各社の判断にゆだねられている現状では他社との足並みが乱れることも多く、現状の要請の仕方ではなく、一律に実施すべきこと、そうではない事を明確にしていきたい。 ・定額給付金、持続化給付金などの助成について再考願いたい。(道→国への働きかけ要) ・建築関係だが、全体的に仕事が遅れている感じである。決定した仕事でも、決定から発注までの期間が長い。 ・医療従事者だけでなく、スーパー店員・介護士にも対価に合った助成を。検査やワクチンは、全助成はできなくても、年齢や疾患によって助成を。 ・機械工業会主催の講習会の講師の年齢が高齢化している。若返りを求む。
I T	<ul style="list-style-type: none"> ・道内IT企業が求める人材確保・育成支援施策の拡充・強化。 ・DX推進に係る施策の拡充・強化。
食品 (菓子)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進…納税や住民税も通帳から引き落としとしてできるようにしてほしい。
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するにつれ、組合員の経営体力が限界に近づいており、商店街活動の存続が危惧される状況にある。感染症拡大防止と消費拡大を両立させる商店街域内消費喚起事業へのさらなる支援をいただきたい。また、商店街は単に買物やサービスの提供の場だけではなく、地域コミュニティの生活支援といった役割を担っており、まちづくりを支える中核的組織としての位置づけのもと、活動に対する支援をいただきたい。
卸売市場	<p>○水産市場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の強い施策を要望。併せて現状での飲食業、観光業、食品流通業等の困窮する業界への適切な支援策を期待する。
観光 (旅行業)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、国、道からのさまざまな支援金にて保たれている。この支援金や助成金が無くなると業界としては、大変厳しい状況が続いている。さらなる支援や助成の継続が必要不可欠なので、強く要望したい。
観光 (ホテル業)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き感染予防対策の徹底、休業等に対する助成拡充。

建設	<ul style="list-style-type: none"> ・新・担い手3法（品確法、建設業法、入契法の一體的改正）は、必要な工期の確保、施工時期の平準化等により建設業の働き方改革を促進するものである。この法律の趣旨がさまざまな発注者に反映されるよう、北海道として、市町村や民間事業者等に対して的確な指導をお願いしたい。
運輸	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響により収益が減少した事業者への対策。 ・景気浮揚対策。 ・北海道内の高規格幹線道路及び一般道のインフラ整備促進。 ・北海道ブランドの維持・拡大の為、道外へ輸送するための物流コストに対する支援。 ・公共事業の輸送費関連の積算単価はやや上昇しているが、事業受託企業から実運送事業者へ支払われる輸送費が原価割れを起こす事例もあり、適正な運賃が支払いの指導。 ・公共事業の工期が集中しており、ドライバー不足等により車両の確保が出来ない事例があることから、公共事業の工期の平準化等の対策。 ・災害時等における、道路の安全確保対策と燃料の安定供給・確保対策。
<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○木材・木製品製造業（一般製材） <ul style="list-style-type: none"> ・海外材の高騰により、道産材ニーズ（特にトドマツ）が高まっているが、原料供給増が見込めないことから、これらのニーズに応えることができないのがもどかしい。ユーザー側にも国産材を使ってこなかったことに責任の一端があるが、今回も供給しながら定着させる動きができないことについては、本当に残念に思っている。国も（北海道も）我々林産業界も国産材の需要拡大を唱えるのであれば、これらのニーズに対し緊急に対応する備えを協議しておく必要があるのではないか。 ・道外移出向けに採材された原木が増加し、道内工場向け採材の原木が不足する事が予想される。毎月の動態調査等の情報を活用し、早めの対策をお願いする。 ○窯業・土石製品製造業（生コン） <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルコストで有利となるコンクリート舗装の普及拡大。 ○卸売業（各種商品：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ・C o v i d - 1 9の拡大防止と経済活動の同時並行は無理があるように思う。感染検査と医療体制確保に資金を優先的に投入しないと、いつまでも中途半端な状態が続く。住民に自粛をお願いするだけでなく、自治体独自の感染防止具体策が必要ではないか。 ○卸売業（野菜・果実：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ・北海道は首都圏から距離的に離れており、運送費の補助等をして頂けるとありがたい。例えば、出荷奨励金の創設など。 ○小売業（各種商品：函館） <ul style="list-style-type: none"> ・政府の緊急事態宣言が約2ヶ月ぶりに全面解除になったが、早くもリバウンドが各地で目立ってきており、今後のGWなど本格的な旅行シーズンに向けて、かなり心配。解除の基準も曖昧なので、数値基準に捉われることなく月毎など期間で目安を設け、旅行トピックスのある月は解除、ない月は自粛、などメリハリをつけ、その中でG o T oトラベルや地域共通クーポンなどを効果的に実施していただきたい。 ○小売業（農業用機械器具） <ul style="list-style-type: none"> ・北海道は食糧供給地域となっているが農業を取り巻く担い手不足・高齢化・消費者の多様化など課題に直面している。力不足ではあるが少しでも貢献できるよう努力したい。 ○運輸業（一般貨物自動車運送：小樽） <ul style="list-style-type: none"> ・間接的な影響であっても、コロナ禍が原因で売上が減少している事業者には広く給付金を給付してほしい。

II 特別調査

○ 新型コロナウイルス感染症に係る影響・対応について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により導入した、会員企業や団体等における接触を避けるための取組について、うまくいった点や工夫した点、今後の改善点や課題等

分野	内 容
機 械	<p>企業が行っている感染を避けるための取組として、以下のとおり行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置 94.7% ・マスクの着用 93.0% ・手洗いや咳エチケットの徹底 91.8% ・出張・会議・イベントの規制 66.1% ・定時の換気 53.2%
I T	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン合同企業説明会、オンラインセミナー、リモート（ハイブリット）会議の開催。 ・オンライン合同企業説明会、オンラインセミナーは、遠距離の方も参加できるメリットがあるが、反応がわかりにくいとのデメリットもある。
食 品 (菓 子)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスルーで購入できる店舗を創設…商品メニューと店頭店内商品との差別化が課題。
商 店 街	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせや会議をリモートで行ったほか、例年会員を参集して行うリーダー研修会のテーマをコロナ対策としてオンラインで開催するとともに、一定の期間録画配信するなどしてその内容の浸透を図った。
卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なマスク配布、事務所内デスクスクリーン設置、食堂内座席の間引き、各チームでのテレワーク・在宅勤務・時短就業、コロナ対策特別休暇等を如何無く実行にて成果を上げている。会議はWeb会議を多用する。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・取引先とのリモート会議。
観 光 (旅行業)	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体とのオンライン会議が増えた。 ・事務所での会議室では前方と横に透明パーテーションを設置し、感染防止対策を行った。 ・商談会やイベント開催が中止となったので、感染が減少した際には、十分な対策のもと開催を行いたい。
観 光 (ホテル業)	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂、宴会場など飲食施設の比率が多い事業所がある。 ・接触を避けるよう人数制限、間隔をあけた配置、感染拡大予防を最大限行っている。如何せんお客様がいない。
建 設	<ul style="list-style-type: none"> ・対面会議をWEB会議形式に変更したことで、感染リスクの低減を図った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、週1回在宅勤務とした。
運 輸	<ul style="list-style-type: none"> ・運行前、運行後の点呼のオンライン化の取り組みが進んでいるが、費用面に課題がある。また、対面と違い、オンラインではドライバーの顔色などが直接見られない為、体調の変化がわかりにくい。 ・トラック運送事業においては、荷主や荷受けの企業や個人等の理解と協力が必要であり、自社のみの取組だけでは完全な対策が出来ない。 ・収益が落ちている中での、コロナ対策への取組に掛かる費用が重荷となっており、十分な取組が進められない企業がある。

<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○木材・木製品製造業（一般製材） <ul style="list-style-type: none"> ・前期と同様。（うがい、手洗い、消毒、密にならない休憩・昼食等の対策徹底。外出時の注意呼びかけ。空気清浄機を購入し事務所内を除菌等。） ・早期のワクチン接種が必要。 ○紙・紙加工品製造業（加工紙） <ul style="list-style-type: none"> ・営業・事務・経理はテレワーク実施の方向で進めているが、生産工場は無理なので各自接触を避ける方法を取っている。 ○印刷業 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリット型研修会および会議。 ○窯業・土石製品製造業（生コン） <ul style="list-style-type: none"> ・リモート会議、電子決裁システム。 ○一般機器製造業（金属工作機械：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ・支店（道外）との往來を極力減らすため、オンラインにより会議等を実施。 ○卸売業（各種商品：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ・接触を避けることにはならないが、会議室におけるソーシャルディスタンスを確保するため広い会議室の需要が高まっている。当該団体においては定員を半分にし、座席の幅を確保。机・椅子やマイク等の消毒を徹底し、定期的に窓とドアを開けて換気に努めているほか、消毒用アルコールの常備、講師の演壇にアクリル板設置、北海道が推奨する告知広告の掲示等で感染対策を訴えた結果、会議室の利用が増加している。 ○卸売業（野菜・果実：札幌） <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮流通なので人手に頼る部分が大きく、旧態依然とした対応しかできないところが問題である。 ○小売業（各種商品：函館） <ul style="list-style-type: none"> ・G o T o 商店街を活用し、新たに企画した函館朝市&駅前大門「玉手箱」（通販企画）の期間を延長し、今もなお継続して実施している。積極的な来場が望めないこのコロナ禍において新たな販路の開拓となり、参加各店の売上に少しでも寄与出来ればと考えている。 ○小売業（電気機械器具） <ul style="list-style-type: none"> ・例年、年2回実施していた合同展示会は中止し、各事業者が3密等に留意しながらDMを配布し店頭で小規模な展示会を開催している。また、リモート会議を取り入れている。 ○小売業（農業用機械器具） <ul style="list-style-type: none"> ・大手はテレワークを活用しているが、中小は設備面で対応ができていないのが現状。 ○商店街（各種商品：帯広） <ul style="list-style-type: none"> ・帯広市中心街の商店街・繁華街で「帯広中心街連合協議会」を組織し、店舗で実施している新型コロナウイルス感染拡大防止策をわかりやすく伝える取組を実施。消毒液、パーティションの配付のほか、特設ホームページ「まっています帯広まちなか商店街」をオープン、各店の感染拡大防止策を発信。 ○サービス業（ソフトウェア） <ul style="list-style-type: none"> ・IT企業のシステム開発業務は事務所内や在宅でのリモートワークでもPCに向かって長時間座っての作業が主流で感染対策を神経質なまでに実施することが求められている。事務所内での隣接者との距離間隔や換気の徹底はもちろん、感染者が発生した場合、業務の停止だけでなく会社業績に直接ダメージを与え事業経営の存続にも発展しかねないので、次のような技術者の生活まで踏み込んでの注意を呼び掛けている。 <ul style="list-style-type: none"> ○夜の飲食店への出入りの自粛 ○通勤の際の地下鉄、JR、バスの高密度な乗車回避 ○外食時の黙食 ○できる限りの2重マスクと帰宅時のうがい・手洗いの励行 ○出勤時や帰宅時の検温とアルコール消毒 ○サービス業（自動車整備業） <ul style="list-style-type: none"> ・現在、Web会議の導入を検討している。Zoom等のシステムについて、どのシステムを使用したらよいか検討している段階。
--------------------------------	---